

5 改訂計画(案)の内容

5 改訂計画（案）の内容

主な計画変更内容

現況

千葉中央地区では、コンテナ、完成自動車、RORO、一般貨物と荷姿の異なる貨物を多く扱っているが、利用岸壁や荷捌き地の配置が混在しており、非効率な荷役が発生している。

非効率利用の解消と機能強化に向けた埠頭再編

- 岸壁と背後用地の一体的利用を可能とする機能配置
- 船舶の大型化ニーズに対応した岸壁機能の強化

今回計画

自動車ヤードの拡張と集約化

- ・コンテナヤードの拡張
- ・岸壁増深・延伸、連続2B化

- ・ROROヤード、の集約化
- ・岸壁の機能強化

一般貨物ヤードの集約化

【コンテナ取扱の問題点①】

- ・コンテナ取扱量は既にターミナル取扱能力を超過
- ・コンテナヤード不足のため千葉中央地区の物揚場用地をシャreshi置場として利用。

【完成自動車取扱の問題点①】

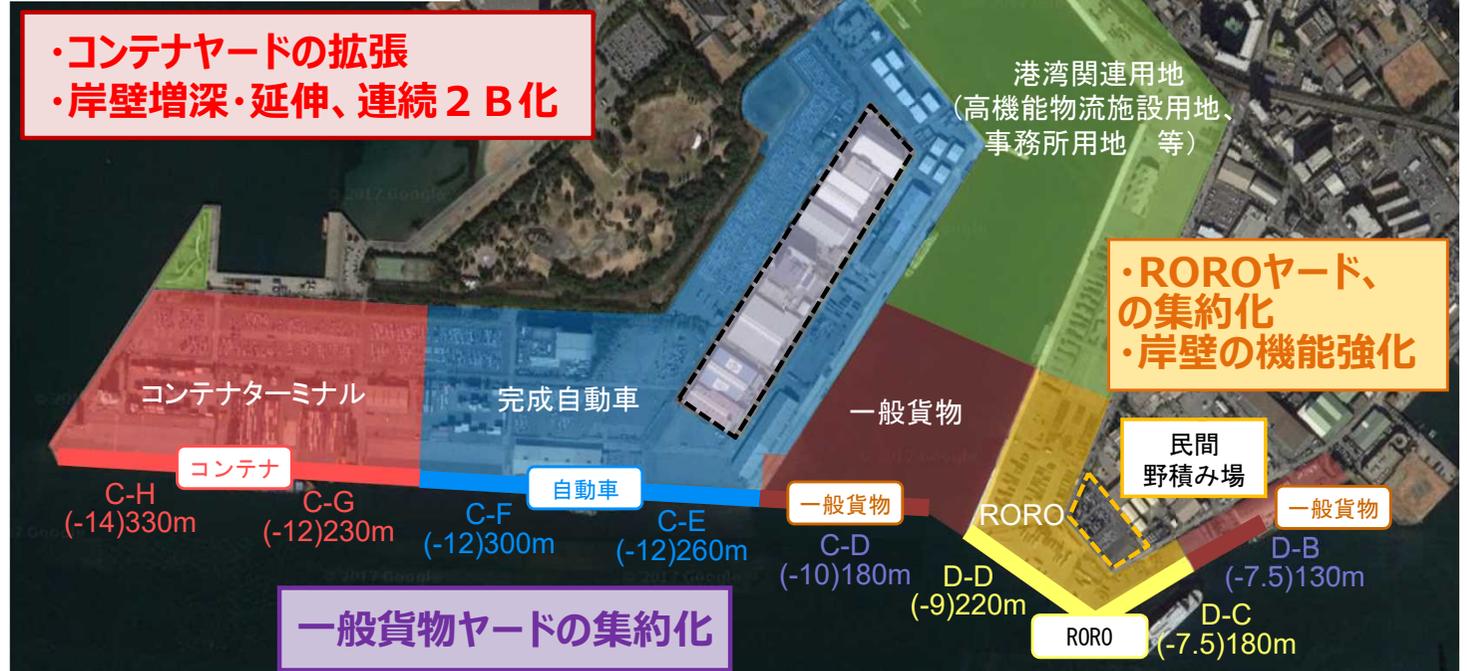
- 自動車ヤード不足のため、出洲埠頭の臨時野積場への横持ちが発生

【完成自動車取扱の問題点②】

- ・岸壁延長不足のため大型PCC船が隣接岸壁にはみ出して係留
- ・大型PCC船着岸時は岸壁背後の一般貨物の荷役が行えない状況

【RORO取扱の問題点】

- ・利用岸壁と荷捌きが分散し非効率な利用（千葉中央埠頭B岸壁）
- ・船舶の大型化ニーズへの対応が不可

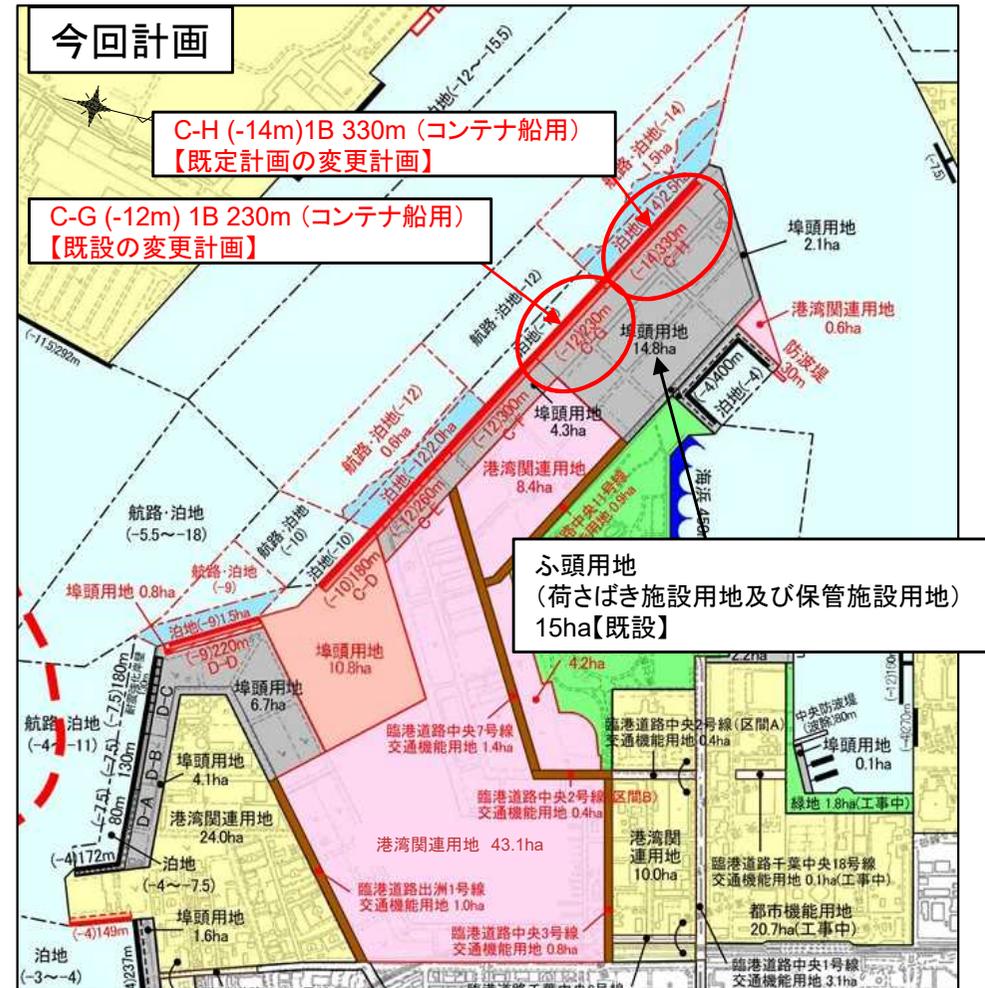
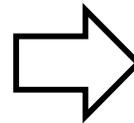


5 改訂計画（案）の内容

公共埠頭計画（外内貿コンテナ）

千葉中央地区

○コンテナ船の大型化やコンテナ貨物量の増加に対応するため、岸壁の増深・延長およびコンテナヤードの拡張を計画する。

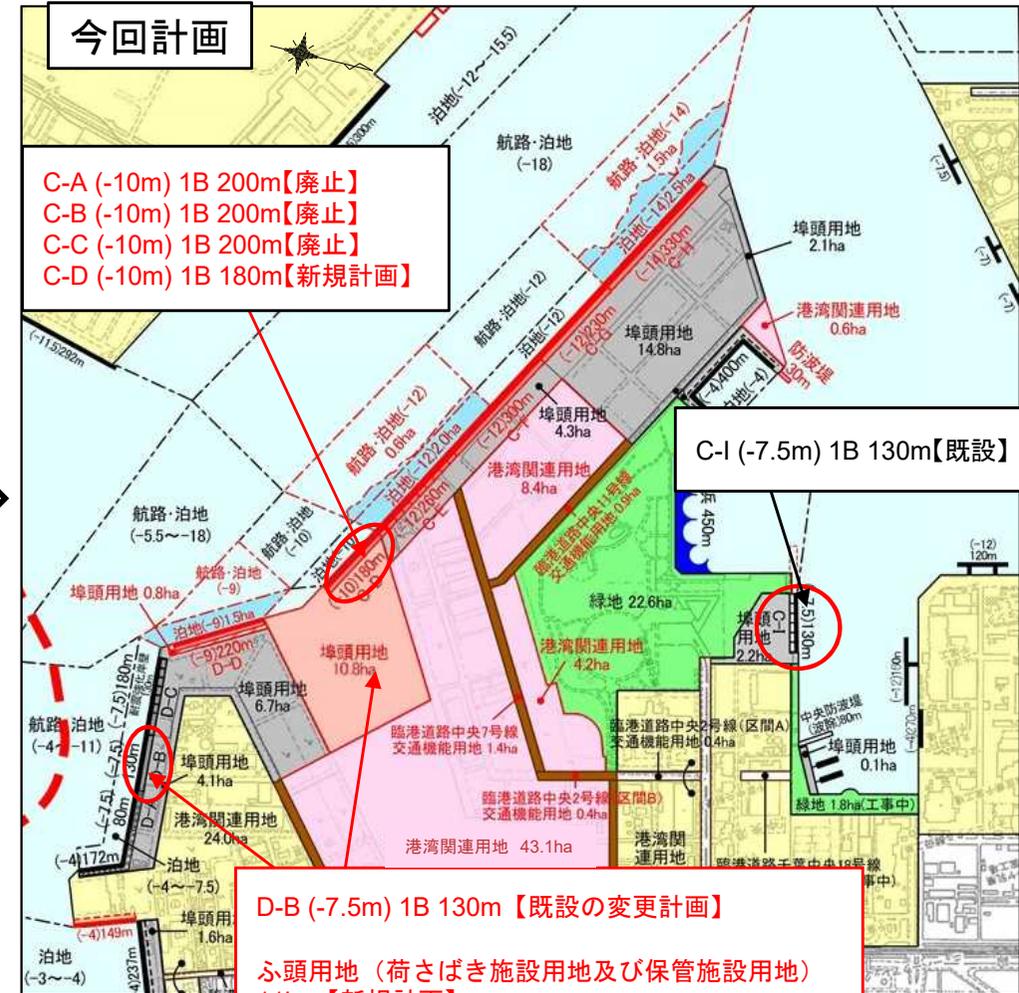
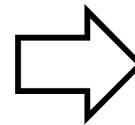
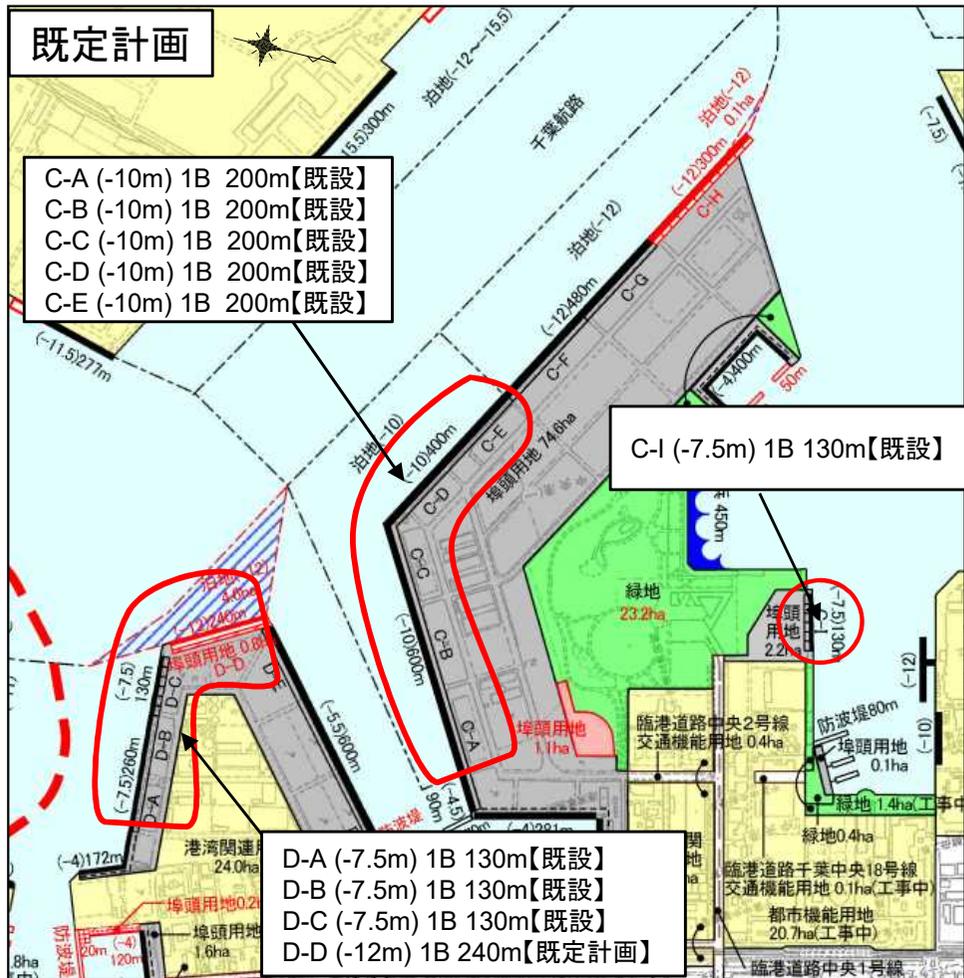


5 改訂計画（案）の内容

公共埠頭計画（バルク）

千葉中央地区

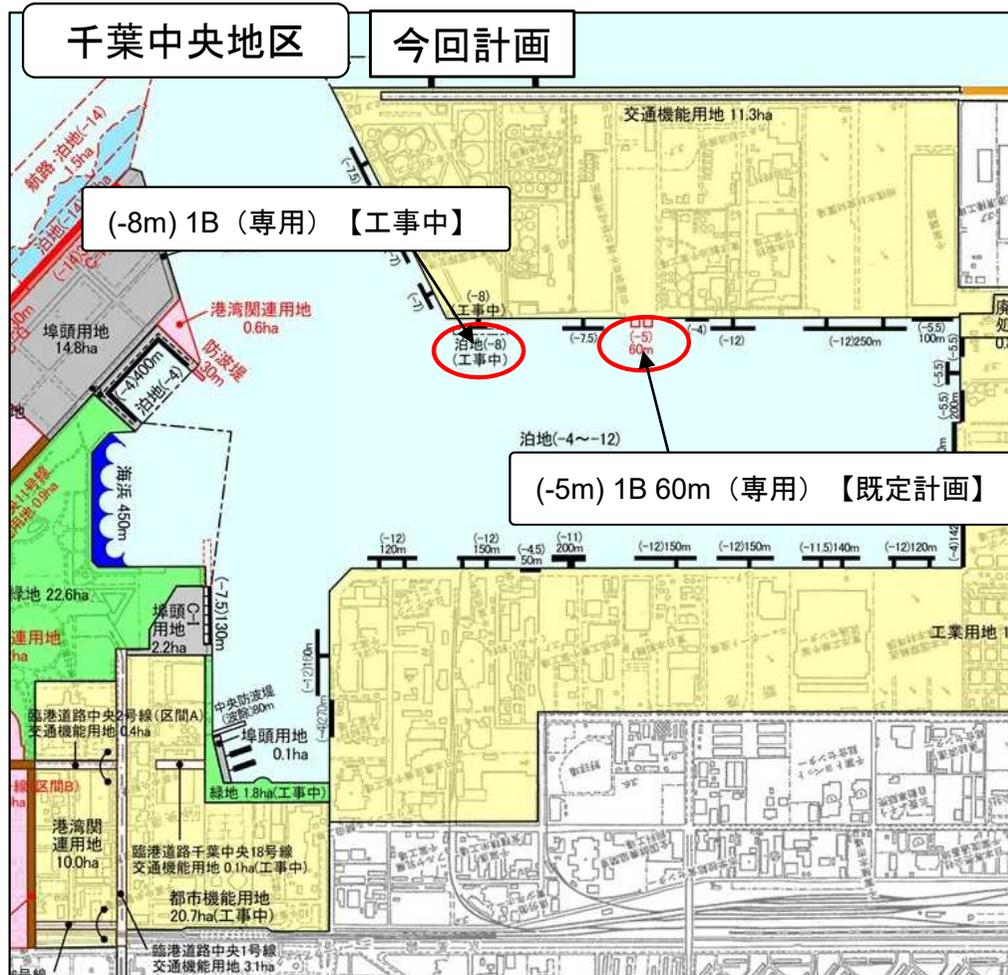
○老朽化・低利用岸壁および新たな土地造成計画に対応するため、バルク船用岸壁の集約および配置変更を行う。



5 改訂計画（案）の内容

港湾施設の利用（危険物取扱施設計画）

○企業の事業計画に基づき、危険物取扱施設を計画する。



5 改訂計画（案）の内容

港湾施設の利用（危険物取扱施設計画）

○企業の事業計画に基づき、危険物取扱施設を計画する。

姉崎地区

今回計画

(-5.5m) 1B (専用) 【既定計画】

北袖ヶ浦地区

今回計画

(-10m) 2B 390m (専用) 【既定計画】
(-7.5m) 1B 130m (専用) 【既定計画】

5 改訂計画（案）の内容

水域施設計画

千葉中央地区

○係留施設の計画変更に伴い、岸壁前面に対象船舶の停泊に必要な泊地を確保する。

